



平素はたいへんお世話になっております。塾長の条井です。
今年は暑い！と思っていた夏も、あっけなく終わり、ずいぶんと過ごしやすい気候になりました。

開塾以来3度目の夏を越しましたが、今年を受験生は、早くからエンジンがかかり、よく頑張っていました。その影響かわかりませんが、小学生や中 1、2 生も意欲的に取り組んでいて、私も元気をもらいました。共に頑張っていきます。

できる子のノート作り ～算数・数学編～

当塾ではノートの書き方の指導もしております。生徒たちのノートもだいぶよくなったと感じておりますが、まだ習慣になっていない子もいたり、新規生も多く通っていただいていますので、再度お伝えしたいと思います。

パソコン活用の学習、なおも重要なノート作り

勉強に必要なアイテムは大きく分けると、教材、筆記用具、ノートの3つです。当塾では教材としてPCを使っていますが、これは、勉強にノートを使うことには変わりありません。また、「すらら」は学習効率という面でかなり強力な教材ですが、後で見返したいときなどは、パソコンを開くよりノートを開いた方が圧倒的に速いですね。学習スタイルは進化していますが、ノート作りの重要性は今も昔も変わりません。そして、意外と子どもたちが理解していないのは、ノートは「復習に使うもの」ということです。書きっぱなしではせっかく書いた苦労が水の泡です。それがわかればノートの書き方はずいぶん変わらなうのです。

良いノートってどんなノート？

この観点からすると、良いノートとは一言で言うと、**“後で何度も見直したくなるノート！”**

そんなノートを書けたら言われなくても勉強してしまうと思いませんか？では、どんなノートなら見直したくなるのでしょうか？

もちろん内容も重要ですが、それ以上に、見やすさと面白さが重要だと思っています。

色がきれいな方がいいでしょう。ぎちぎちに詰まっているよりは、スペースが合った方がいいでしょう。まとまりがわかりやすく、後から書き足しもし

やすいので、図や表があった方がいいでしょう。たまに好きなキャラクターやへんでこなイラストがあったら面白いでしょう。そのイラストから吹き出しが出て、重要ポイントを言っているとか・・・etc. 字が下手でも、絵心がなくてもいいんです。ポイントは、見やすさと、少しの遊び心です。

◇算数・数学のノート

できる子はなぜ計算ミスが少ないか

ミスをする・しないは心理的な作用が大きいのですが、できる子は自然とミスを誘発しないような工夫ができています。算数・数学が苦手だと思っている子やミスが多い子は、途中式を書かない、あるいは書いてもゴチャゴチャして見にくいことが多いです。私が式を書くように言っても、目を離すとすぐに書くことをサボる子もいます。逆にトップクラスの子は間違いなく途中式を丁寧に書いていますね。

途中式を書かない理由は、「書くのが面倒だから」「書かなくても暗算でできるだろう」と思っているからでしょう。逆に、できる子が式を書く理由は、「間違えたくないから」そして「その方が楽だから」と言います。つまり、数学が苦手な子は、途中式を書くことを「面倒」だと思っており、できる子は「楽」だと思っているのです。これはどういうことなのでしょうか。

計算を暗算でやろうとすると、脳は、いくつかのことを同時に処理しなくてはなりません。これは脳にとっては大きな負担です。なので、結局処理しき

れず、間違ったり、ギブアップしたりすることになります。

それに対して、式をひとつひとつ丁寧に書いていけば、書きとめることによって同時にいくつものことを処理しなくてもよくなり、思考に余裕が生まれるので、より正確な処理ができるようになります。

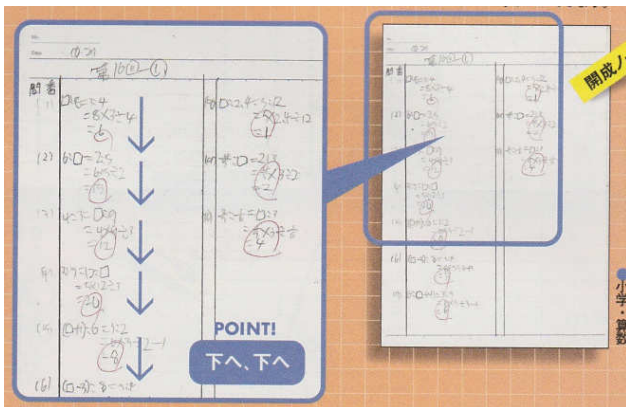
このように、途中式を書かないというのは、ほんの少しの腕の筋力とコンマ何秒かの時間を惜しんで、その代わりに脳に過大な負担をかけ、結局ほしい結果が得られない、という非常に残念なことをしているのです。

以上のことは、まず、式は丁寧に書きましょう！ということですが、次に、書くのをサボらないことを前提にした場合のノートの書き方のポイントをお伝えします。

算数・数学ノートの書き方

①計算式を横につなげず、縦に書く

式は縦に、イコールの位置をそろえて書いていきます。縦に書くことで、前の行と見比べながら式を書くことが容易になるので、スピーディーかつ正確に進めていくことができます。

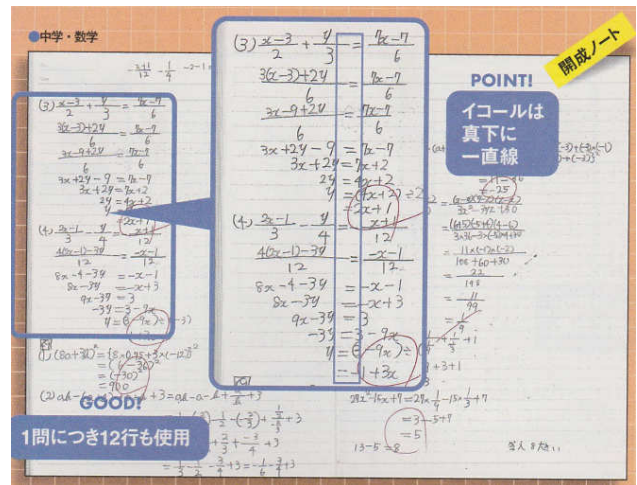


(画像は雑誌「プレジデントファミリー」より拝借しました)

②適度なスペースをとる

ノートをギチギチに詰めて書く子がたまにいます。スペースがもたないという意識からでしょうか。物を大切に使う心は良いと思うのですが、大切にするとおさらノートを「役に立つもの」として使いたいです。見やすさを考えた場合、適度なスペースがあった方が、パッと目で見て頭に入りやすいです。

また、分数は1行に詰めて書かず、2行使いましょう。



復習に使えるノートの中身は？

以上は主に「見た目」についてのお話でしたが、内容についても重要なポイントがあります。

それは、「解き方の説明を言葉で書く」ということです。

今まであまり勉強ができていなかった子に多い特徴として、ノートに答えしか書かない、という点があります。わからない問題を先生が説明しても、答えを知っただけで「わかった」気になってしまうのです。たとえその場でわかったとしても、人間の脳は忘れるようにできているので、後で復習して思い出すために必要な情報をノートに書いておかなければなりません。さらに、数学は、「答え」を覚えても何の意味もなく、「解き方」のパターンを覚えていくことで飛躍的に伸ばすことができます。

これを今までやってこなかった子には、いきなりやれと言ってもできないので、当塾では、ノートに書くべきことを私が板書をして、それをノートにまねて書いてもらうことからやっていますので、まずは真似をしてだんだん慣れていってほしいと思います。そして、すべての子が、“おれ・わたしのノート最高！”と言って、自分のノートを眺めるようになることを願っています。

“伸びる人”のノートに共通する特徴

見やすい！…あとから見てパッと頭に入ってくる。

- ①読みやすい字。下手でもいい。上手さよりも見やすさが大事。
- ②色ペンを使っている。自分なりの色使いのルールを決めている。せいぜい3色くらい。大事なポイントがひと目でわかる。
- ③ぎゅーぎゅーに詰めて書かない。適度なすき間を空けて、まとまりが見てすぐ分かる。
- ④図表や絵、イラストを書いている。字だけではない。

成績アップ速報！

H27年度中3第1回総合テストの結果です。

【1科目10点以上アップ者】

- 中3男子 : 数学18点アップ、理科12点アップ、社会18点アップ
- 中3男子 : 英語27点アップ、数学15点アップ
- 中3女子 : 英語18点アップ、国語16点アップ
- 中3男子 : 理科19点アップ、社会29点アップ
- 中3男子 : 社会11点アップ
- 中3男子 : 英語12点アップ
- 中3男子 : 英語14点アップ
- 中3男子 : 国語15点アップ
- 中3女子 : 国語13点アップ
- 中3男子 : 国語36点アップ
- 中3女子 : 理科20点アップ
- 中3女子 : 英語10点アップ



がんばりました！

第1回総合テストは、問題がかなり難しく、学年の平均点が極端に低い中学もありました。

さらに、受験生皆が頑張り始めたこの時期にこれだけ点数を上げられたのは素晴らしいです。

この夏頑張った成果ですね。このままさらに上を目指していきます。

すさら学習ランキング

すさらの学習量の校内ランキングです。

<期間>2015年8月6日～9月5日まで

※名前はハンドルネーム

【学習時間ランキング】

- 1位 28時間 28分 05秒 : Naoya
- 2位 24時間 01分 16秒 : (^ω^三^ω^)
- 3位 21時間 08分 30秒 : 広瀬すず
- 4位 21時間 07分 55秒 : ことみ
- 5位 20時間 58分 50秒 : フーパ
- 6位 19時間 02分 49秒 : はるな
- 7位 17時間 17分 51秒 : 霧嶋 絢都
- 8位 16時間 50分 46秒 : ze4s_hiroto
- 9位 16時間 48分 26秒 : おじモンやってみ!
- 10位 15時間 55分 00秒 所属 : おやじばな

【クリアユニット数ランキング】

- 1位 36ユニット : フーパ
- 2位 35ユニット : ことみ
- 3位 34ユニット : 霧嶋 絢都
- 4位 31ユニット : Naoya
- 5位 30ユニット : (° 皿°)<
- 6位 29ユニット : はるな
- 7位 28ユニット : 伝説の ahiru
- 8位 27ユニット : しょー
- 9位 26ユニット : kurumi
- 10位 22ユニット : AbsL xnoa



生徒のひと言

★授業が終わったとたんに「はやい！」と言。自分が感じている以上に時間が経つのが速かったそうです。入塾前には、2時間も連続で勉強したことがなかったようで、続か心配だったようですが、2時間集中して勉強して、あっという間に時間が過ぎるといふ未体験の感覚に自分で驚いていました。

★「ひと言」ではありませんが、生徒の頑張りをご紹介します。

冒頭にも書きましたように、今年の夏は、小学生、中1、2年生も頑張っていました。特に受験生がよく頑張っていました。中でも、夏休み中の塾での勉強時間が100時間を超えた生徒がいました！

この生徒は、休み前から、この夏の塾での勉強時間を100時間以上やることを目標に設定していたそうです。夏休みに入り、連日のように塾に来て勉強し、中には朝から夜まで1日10時間勉強した日もありました。そして、ついに目標も見事達成させました。

強制されたわけでもなく自ら簡単ではない目標を設定し、それを実現させるというのは、本当に素晴らしいです。尊敬に値します。

子ども達がどんな力を秘めているのか。本人も周りの大人も「限界」を勝手に作っては、もったいないとつくづく思います。

お知らせ

●中学生理科・社会授業のご案内

通常授業では、主に「すらら」を使用した、英語・数学・国語の学習をしていますが、内申点や入試を考えた場合にはやはり5教科すべてを学習すべきだと思っております。しかし、週1、2回の通塾では時間が足りません。そこで、それを補うため、理科・社会については、希望者の方に、定期テスト毎に追加（有料）で授業を行っております。日程につきましては塾長までお問い合わせください。

●プレミアムコース開設

当塾では「すらら」での自立学習を主体としておりますが、学年トップを目指したい、あるいは苦手科目を克服したい、などのご要望に対応するため、今回新たに塾長が直接指導する**プレミアムコース**を開設いたしました。授業料は1時間当たり2,200円となります。

生徒一人ひとりに合わせたオーダーメイドの授業を、よりハイクオリティでご提供いたします。時間割等は塾長までお問い合わせください。

●ご紹介について

現在当塾は水曜日・木曜日の17:30~19:30、土曜日15:30~17:30の時間帯は満席となっておりますが、他の曜日・時間帯にはまだ若干の余裕があります。ぜひお知り合いの方へのご紹介のほどよろしくお願いたします。その際は同封の「ご紹介カード」をお使いください。ご紹介者の方には2000円の図書カードを進呈させていただいております。

ちょっと紹介

海外旅行記 チュニジア編③



チュニジアで最も印象に残っている街がマトマタです。ここも砂漠の中にある街。元々ベルベル人が住んでいたところで、堅穴を掘ってその側面に部屋を作る穴居住宅が残り観光名所にもなっている街です。

この住居は、暑さや外敵から身を守るために作られたそうです。また、映画『スター・ウォーズ』のロケ地としても有名で、第1作（エピソード4）で、主人公ルーク・スカイウォーカーが住んでいた惑星タトゥイーンの家はこの住居で撮影されました。ミーハーな私は、ぜひ行ってみたいと思い、マトマタ行きの長距離バスに乗り込みました。

ただ、到着したのは、夜10時を回った頃でした。え？真っ暗じゃん！街灯などはなく、恐る恐る地図と遠くに見える電灯らしき明かりを頼りに歩いて、ホテルの看板を見つけたがすでに閉まっている。こんなところで野宿する勇気もなく扉をドンドン叩いていると、ホテルの人が出てきて、泊まれることになり一安心。ホテルの部屋も洞穴でした。左上の写真がそのホテルです。青空との境目が地面なのですがおわかりでしょうか。

この街は、観光名所といっても、このような住居の穴がぼこぼこ開いているだけで、特に何があるわけでもなく、とりあえず、歩き回り、ラクダやヤギが歩いているのを眺めたり、サッカーをしている子ども達に混ぜてもらったり、本を読んだりして過ごしました。それでもまさに「ほかの惑星」のような景色に感動しつつも、不思議と落ち着いたのでした。故郷に戻ってきたような感覚で、前世ここにいたかもとさえ思っちゃいました（笑）。

そして、出会いもありました。右の写真のおじさんとその家族ですが、そのお話はまた次回。



塾長雑感

◇先日、初めて映画の撮影というのを見ました。そして、初めてエキストラで参加してもらいました。松本を舞台にした漫画が原作の映画『orange』の撮影です。主演は、朝ドラ『まれ』のヒロイン役土屋太鳳さんと同じくその夫役の山崎賢人くんです。今旬の俳優さんたちを間近で見ることができ、さらに同じショットに映ることができ（カットされなければ）やや興奮気味でした。また、裏方さんたちのご苦労も垣間見ました。例えばエキストラ担当の若い女性でしたが、撮影中は睡眠時間1、2時間の日が何日も続いていながら、それでもすべての人に気配りをしてきばきと動き、いきいきと働いていました。情熱を感じます。